

平成16年度「海外先進教育研究実践支援プログラム」審査方法について (案)

「海外先進教育研究実践支援プログラム」の審査は、次の方法によるものとする。

1. ペーパーレフェリーの評価

ペーパーレフェリーは、「海外先進教育研究実践支援プログラム申請書」をもとに行う「評価書」(別紙参照)の作成に当たっては、平成16年度海外先進教育研究実践支援プログラム審査要項(以下「審査要項」という。) 「審査方針」の各項目に留意するものとする。

ペーパーレフェリー評価

選定委員会の委員長は、取組を選定する際の参考資料とするため、申請のあった各取組の申請分野(文、教育、社会、法、経済、経営、芸術、体育、理、工、農、医、歯、保健、薬、情報、環境、その他)毎に選定した2名のペーパーレフェリーに対し、各大学等の「海外先進教育研究実践支援プログラム申請書」をもとに「評価書」の作成を依頼する。

2. 選定委員会における審査

選定委員会は、ペーパーレフェリーによる評価書を参考とし、審議を尽くした上で、合議により「海外先進教育研究実践支援プログラム」の取組として相応しいと判断されるものを下記の表により決定を行う。

区 分	評 価
A	この取組は、非常に優れたものであるので、選定する。
B	この取組は、事業の全体計画、実現可能性等のいくつかの点で優れたものが見受けられるので、財政的余裕があれば、選定する。
C	この取組は、事業の全体計画、実現可能性等のいくつかの点で不十分な点が見受けられ、努力が求められるので、選定しない。